

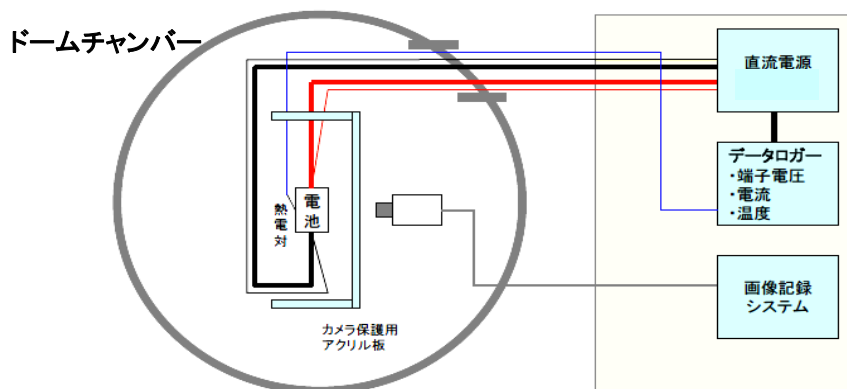
安全性評価・劣化試験

■リチウムイオン電池の安全性試験 過充電試験

リチウムイオン電池の安全性試験として、過充電試験があります。充電電圧以上の電圧に対する耐久性を評価する試験です。試験規格によって、下記のように条件が異なります。

規 格	対象電池	SOC	温度	充電条件	終了	継続時間	
UN 38.3.4.7	組電池	100%	20±5℃	推奨充電V 18V以下： 最大充電電圧の2倍 or 22Vの低い方 推奨充電V 18V以上： 最大充電電圧の1.2倍		24時間	試験後7日間 破裂発火の ないこと
IEC62660-2 6.3.2	単セル	100%	25℃±2K	1It for BEV 5It for HEV	2Vmax or SOC200%	—	
UL2580 8 ----- UL2271 7.2	組電池	0%	25±5℃ 20±5℃	1It ----- 5It	SOC200% or event発生 event発生 or 室温復帰	室温復帰 or 安定後7時間観察	
SAE 2464 4.5.2	単セル 組電池	100%	25±5℃	1C & 3C ----- 1C	SOC200% or event発生	—	
QC/T743-2006 6.2.12.2 6.3.8.2	単セル 組電池	100%	20±5℃	3I & 9I	3I: 5V or 90分到達 9I: いずれかの電池が10V到達		
KMVSS 48. 6.2	組電池	100%	25±5℃	32A	32Aで公称電圧の1.5倍まで その後 CDでSOC150% 又は2.5時間経過		
SBA S1101:2011 8.2.5	単セル	0%	25±5℃	CC(最大充電電流値)にてSOC120%			

表中の試験条件、その他の条件にも対応することが出来ます。



発生したガスを回収し、発生ガス総量測定や成分分析も可能です。
試験実施にあたって、条件詳細については、お打ち合わせの上、決定いたします。



お問い合わせは、
株式会社コベルコ科研 まで
eigyo@kki.kobelco.com